

# この道路を整備することによる効果



## 駅へのアクセス機能強化・交通の円滑化

道路の拡幅により、今までは通行が困難であった大型バス等もスムーズに通行できるようになります。

また、交差点部への右折車線設置によって交通渋滞が緩和されます。



## 安全で快適な自転車・歩行者通行空間の確保

歩道、自転車道、車道を分離して整備することで、特に、自転車と歩行者の安全性や快適性が大幅に向上します。



## 都市景観の向上と都市防災機能の強化

道路を拡幅し電線類を地中化して電柱や電線等をなくすことで、沿道の街並景観が向上するとともに、地震や火災等の災害発生時に建物や電柱倒壊による道路の寸断や火災の延焼を防止するなど、都市防災機能が向上します。



## 沿道の生活環境を改善

交通渋滞の改善や低騒音舗装の導入によって、排気ガスによる大気汚染や騒音の抑制が図られます。



## 経済効果

この道路を整備することにより、整備費用以上の各種便益効果が生まれます。また、駅前エリアの発展により、さらなる経済効果が期待されます。

費用便益比 (B/C) 1.3

※費用便益比 (B/C) :  $\frac{\text{ビーバイシー}}{\text{コスト}} = \frac{\text{整備費用 [Cost]} \text{に対する各種便益効果 [Benefit] (走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益) の比}}{\text{ベネフィット}}$